

この度はPIVOT ステッピングゲージシリーズをお買い求めいただきましてありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をよくお読み下さい。

SG-OT/OTGの特長

- マイコン制御のステッピングモータードライブで、油温を高精度表示します。
 - 高精度油温センサー付属。
 - ワンタッチで最高温度を表示するピークホールド機能付。
 - 様々な場所に対応する取付スタンド&コの字ステー付属。
 - ホワイトLED反射拡散照明(SG-OT)、ブルーLED透過照明(SG-OTG)、明るさ調整機能付。
- 【オープニングデモ】 キースイッチONすると、機能上(原点検出)のため、針が一定の動作をします。

セット内容

メーター本体	フレキシブルスタンド +ホルダーバンド	コの字ステー	油温センサー	5Pケーブル コード	3Pケーブル コード	カットギボシ ×2
ヘキサコ レンチ	両面テープ ×3	六角ネジ ×1	六角ナット ×1	ばね座金 ×1	ローレットナット ×1	取扱説明書

各部の名称と操作方法

＜オモテ面＞



ピークスイッチの操作方法

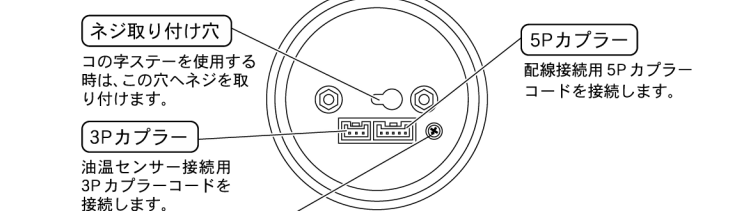
通常表示 → スイッチ 1回押す → ピーク温度表示

※キースイッチOFFでピークデータはリセットされます。

約2秒後自動でリセットと同時に自動で

スイッチ 2秒以上長押し

＜ウラ面＞OT/OTG共通



照明明さ調節トリマー

＜操作方法＞
スモールON時の照明明さを調節します。

計16段階で変化

（トリマーはノッチなしで回ります。）

＜複数のメーターで明るさを合わせたい場合＞
①基準とするメーターの明るさを決め、その明るさが最も明るい（又は暗い）状態から何段階目かを確認します。
②確認した段階に他のメーターを合わせます。

注意 調整は、先の細いドライバーで押しすぎないように回して下さい。

故障と思われる前に ※修理依頼なされる前に、次の項目をご確認下さい。

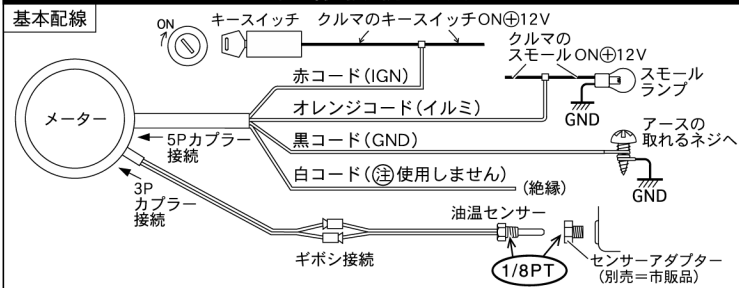
症状	原因	対策
キースイッチONでオープニングデモ動作しない。	●赤コードの接続又は接触不良。 ●黒コードの接続又は接触不良。	各コードの接続状態を確認する。
温度表示が変化しない。	●油温センサーの2Pコードの接続不良。 ●3Pケーブルの接続不良。	各箇所の接続状態を確認する。
スモールONにしてもメーターの照明が点灯しない。	オレンジコードの接続又は接触不良。 照明調節トリマーが右いっぱい（最も暗い位置）になっている。	オレンジコードの接続状態を確認する。 調節トリマーを左へ回していき、明るさを調節する。
照明の色が他のメーターと多少異なる。	照明用LED自体のバラツキのため、故障ではありません。また、完全な同色にはできませんのでご了承下さい。	
キーOFF時の位置で針が止まる。	ステッピングモーターの特性上で故障ではありません。キースイッチONでオープニングデモ後に適正な温度表示（油温が50℃以下の場合は50℃を表示）すれば正常です。	

カットギボシの使用法 ※半田付けができる場合は行って下さい。

- 接続するコードの被ふくの先端を10mm位むく
- 接続したいコードの被ふくの先端を10mm位むく
- 被ふくをむいた箇所をしっかりとめ
- 確実にかしめる

※カットギボシのかしめには圧着工具をご使用下さい。工具がない場合はラジオペンチ等で折たたむようにしっかりとかしめて下さい。（下図）
※不確実なかしめは断線の原因となりますので、かした状態を今一度お確かめの上、確実にピンホールテープ等で絶縁をして下さい。

配線接続方法



- 注意**
1. 安全作業のため、作業中は必ずバッテリー端子を外して下さい。（検電時は戻す）
 2. ギボシ類は確実に取り付け、絶縁処理をして下さい。
 3. コードの引き回しは、ショートや断線のないよう、ご注意ください。

- 接続方法**
1. 5Pケーブルコードの各コードを、それぞれ確実に接続し、5Pケーブルをメーターウラへ接続します。
・赤コード (IGN) = キースイッチONで12Vの流れる配線へ接続します。
・オレンジコード (イルミ) = スモールONで12Vの流れる配線へ接続します。
・黒コード (GND) = アースの取れる鉄板に取り付けネジ (ボディーアース) へ共締めします。

2. 油温センサーの取り付け

注意 取り付ける場所に応じたセンサーアダプター（センサー取付部1/8PT=別売）をご用意下さい。

A オイルバンのドレン穴への取付
オイルバン ドレン穴
センサーアダプター (市販品)
油温センサー
純正ドレンパッキン (1/8PT)

B オイルエレメント取付部への取付
油温センサー
エンジンオイルエレメント取付部
センサーアダプター (市販品)
オイルエレメント

注意 最低地上高の低いクルマや悪路を走行するクルマの場合、センサーが下方方向に突起するよう取り付け方になると地面等に接触し、破損・故障の原因となりますので、別の場所へお取り付け下さい。

油温センサーのネジ部の白テープは漏れ防止用のものですので、そのままアダプターへネジ込んで下さい。

- 注意**
1. センサーアダプターの取付は確実に、油漏れ等ない様、ご注意ください。又、時々油漏れをご確認下さい。
 2. センサーやコードに急な曲げやねじれが加わらない様に、センサーアダプターの向きをよくご検討の上、お取り付け下さい。
 3. 走行後等のエンジン周りが熱い状態での作業は、火傷やケガの恐れがあるため、冷えてから行って下さい。

3. 3Pケーブルコードを使用し、油温センサーをメーターへ接続します。
- ① 3Pケーブルコードのオス・メギボシの付いている方を車輪ハーネスグロメット等を利用してエンジンルームへ引き出します。
 - ② 油温センサーから出ているコードと、ギボシを合わせてそれぞれ確実に接続します。

注意 接続コードとセンサーをつなぐギボシの接続は確実に、特にオスカパーがメスカパーの内側へ入り込むようにしっかりとネジ込んで下さい。

- ③ メーターウラの3Pケーブルへケーブル接続します。
- 接続時の注意** ブラスト、バキューム、油圧、排気温計、Gメーターの3Pケーブルを接続すると故障しますのでご注意ください。

メーターの取付方法

A コの字ステーを使用しての取り付け

- パネル裏側から固定する場合

- 1 コの字ステー用のネジの取り付け
 - ① 付属の六角ネジの六角部分をケースウラのネジ取り付け穴へ入れ、左へスライドさせます。
 - ② ストッパーにはまっている状態で、付属の六角ナットを使用して固定します。
- 2 メーターの取り付け
 - ① 取り付けたいパネルのオモテ側から、メーターを差し込みます。
 - ② ウラ側で、取り付けたいネジへコの字ステーをはめ込み、ばね座金とローレットナットで確実に締め込んで固定します。

B フレキシブルスタンドを使用しての取り付け

- ある程度の強度のある場所に両面テープを使用して固定。（コラムカバー、ダッシュ上等）

- 1 フレキシブルスタンドの取り付け
 - ① スタンドのホルダーバンド部へメーターを差し込みます。
 - ② 差し込めない場合は、六角穴付ネジを多少ゆるめてバンドを広げて下さい。
 - ③ バンド部へメーターが差し込めたら、六角穴付ネジを多少締めつけて仮固定状態にします。
- 2 クルマへの取り付け
 - ① メーターの取付場所を決めます。
 - ② 決めた場所にビッパリ付くようにスタンドを曲げます。
 - ③ 決めた場所の油分や汚れ等を両面テープで確実にキレイにします。
 - ④ 両面テープにて貼り付けます。汚れ・油分をキレイにする

注意 両面テープは貼り直ししないよう、場所や状態をよく確認の上、貼り付けて下さい。

⑤ メーターの首振り角度を決め、六角穴付ネジを両側とも確実に締め込んで固定します。

（参考）
取付後、5Pケーブルコード等のコード類が見えて、見ばえが悪い場合
↓
スタンドのメーターの影になる所へタイラップ等で固定して下さい。